

1. 地震活動に関する資料

3 頁 2006 年 10 月の活動

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、なかった。

南関東における M 3.5 の地震は、

5 日 千葉県北西部	深さ 69km M3.6
14 日 千葉県南東沖	深さ 64km M5.1
15 日 茨城県南部	深さ 63km M3.5
18 日 東京都 23 区	深さ 56km M4.2
23 日 茨城県南部	深さ 52km M3.7
27 日 千葉県南東沖	深さ 61km M4.1

その他の地域で目立った地震は、なかった。

2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震 (M7.4) の M4 以上の余震は発生しなかった。

また、10 月 2 日～3 日に神奈川県西部 (箱根付近) で小規模な地震活動があった (最大 M2.2、10 月 2 日)。

4 頁 2006 年 11 月の活動 (1 日～22 日)

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、

1 日 新島・神津島近海	深さ 11km M3.6
3 日 三河湾	深さ 37km M3.3
4 日 愛知県西部	深さ 13km M3.2
12 日 伊豆半島東方沖	深さ 9km M3.4

南関東における M 3.5 の地震は、

9 日 茨城県南部	深さ 51km M3.7
15 日 茨城県北部	深さ 58km M3.9
19 日 茨城県沖	深さ 62km M4.1

その他の地域で目立った地震は、

6 日 八丈島東方沖	深さ 39km M4.1
------------	--------------

2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震 (M7.4) の M4 以上の余震は発生しなかった。

また、11 月 18 日に神奈川県西部 (箱根付近) で小規模な地震活動があった (最大 M2.5)。

5 頁 東海地域の地震活動指数

固着域：ほぼ平常(4～6)。

愛知県：地殻内の中期がやや高い(7)が、短期はほぼ平常(6)。フィリピン海プレート内はほぼ平常(3～4)。

浜名湖：西側では短期・中期ともにやや低い(2～1)。東側でも短期・中期ともにやや低い(2～1)。全域でも短期・中期ともにやや低い～低い(1～0)。

駿河湾：短期・中期ともにほぼ平常(5～4)。

6 頁 固着域

(1997/01/01～2006/11/22、M3.5 以上は 1987/09/01～2006/11/22)

[フィリピン海プレート内]

M1.1 以上で見ると、特段変化はない。

M3.5 以上の地震発生回数を見ると、2001 年後半ごろから少ないことがわかる。
1998 年後半～2000 年前半にも静穏な時期があった。

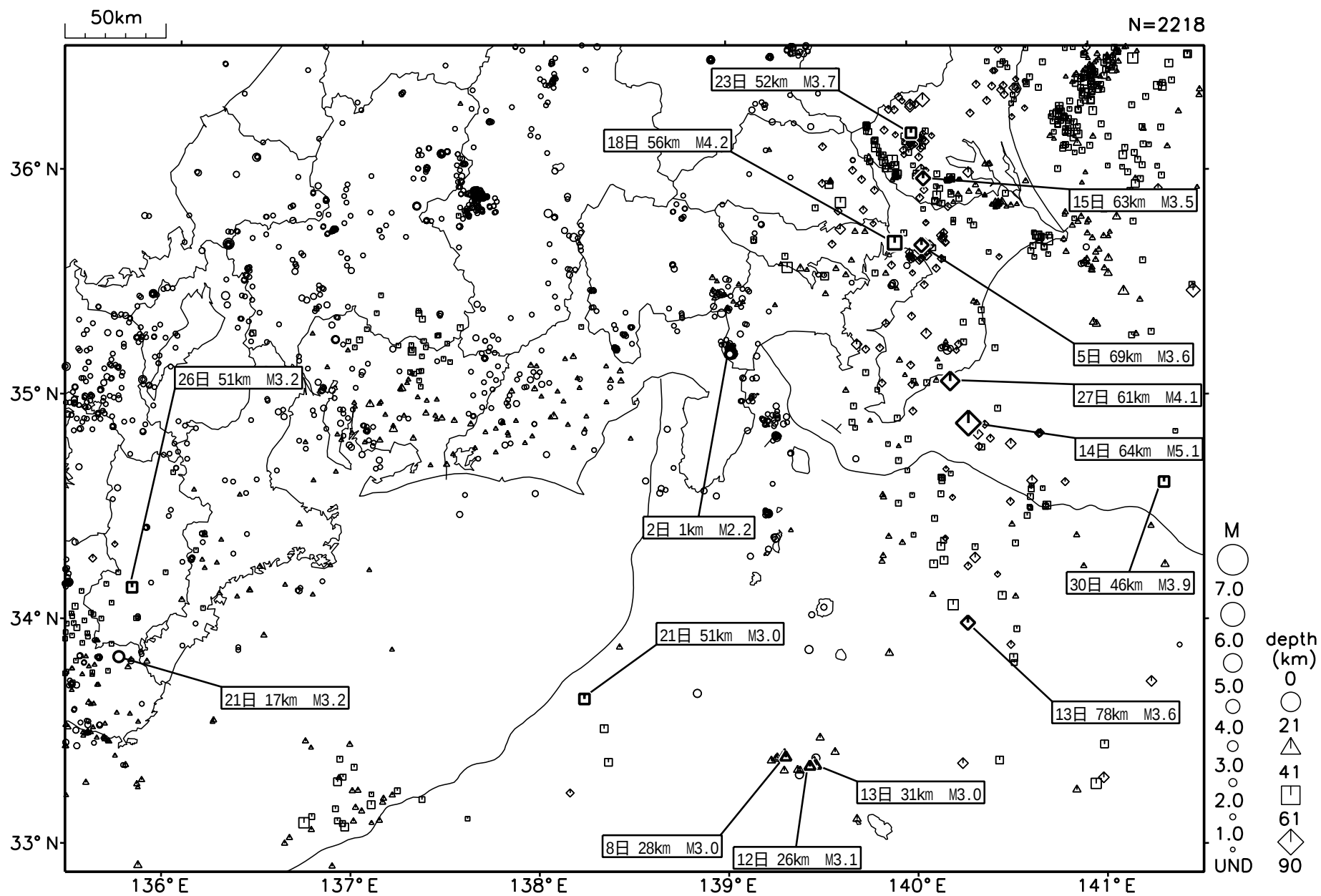
M2.0 以上では 2005 年半ば以降やや静穏な様子が見える。

7 頁 浜名湖(1995/01/01～2006/11/22 M 1.1：フィリピン海プレート内)

[東側] 2000 年後半から浜名湖北岸にあるクラスタの活動が低下し、東側全体の活動レベルが低下した状態が継続している。

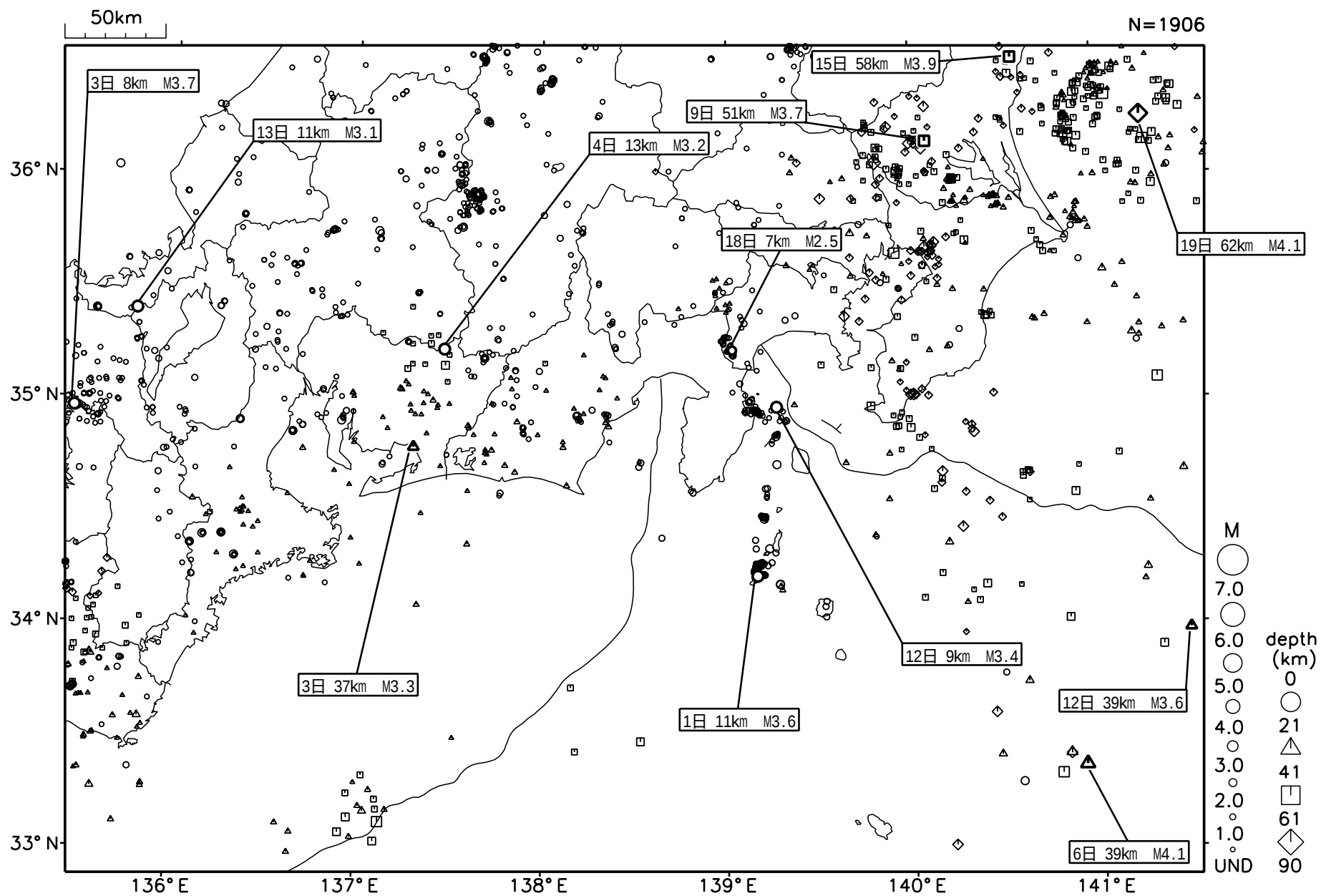
[西側] 最近は地震活動が低調。

東海・南関東地域の地震活動 2006年10月



気象庁作成

東海・南関東地域の地震活動 2006年11月(1日～22日)



気象庁作成

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2006年11月22日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	4	4	6	3	2	1	2	5
短期地震回数 (平均)	7 (6.34)	5 (5.90)	7 (4.49)	9 (12.63)	0 (2.38)	1 (5.91)	1 (3.53)	7 (6.11)
中期活動指数	6	4	7	4	1	0	1	4
中期地震回数 (平均)	24 (19.03)	18 (17.69)	20 (13.46)	37 (37.90)	1 (4.76)	3 (11.82)	2 (7.06)	12 (12.22)

* Mしきい値：

M $\geq$ 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M $\geq$ 1.4：駿河湾

* クラスタ除去：

震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$ ：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$ ：駿河湾

* 対象期間：

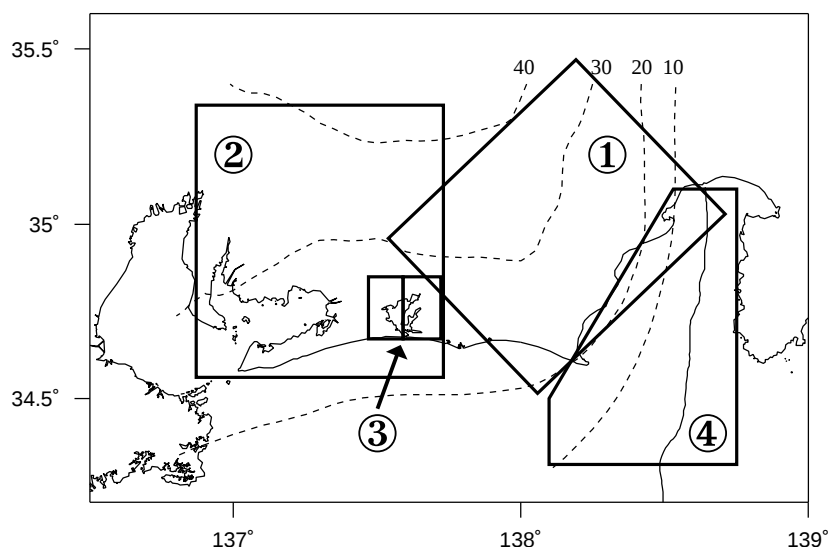
短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

* 基準期間：

1997年－2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年－2000年（3年間）：浜名湖

1991年－2000年（10年間）：駿河湾



* プレート境界の等深線を波線で示す。

地震回数の指数化

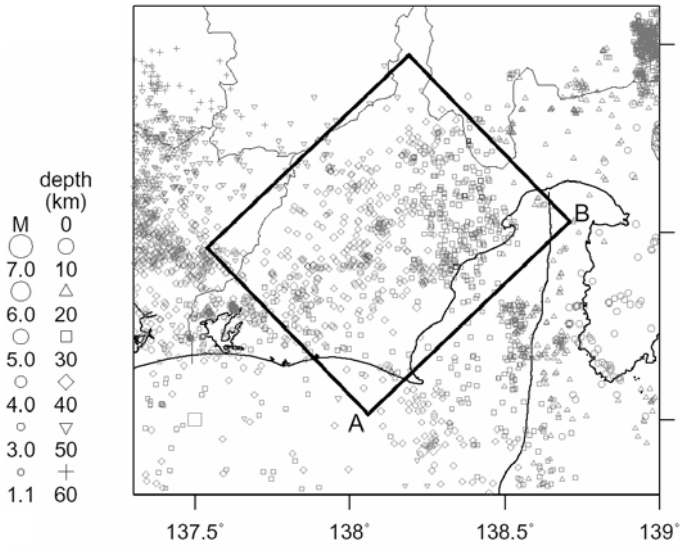
指数	確率 (%)	地震数
8	1	多
7	4	↑
6	10	
5	15	
4	40	平常
3	15	↓
2	10	
1	4	
0	1	少

固着域（フィリピン海プレート内）

[M1.1 以上]

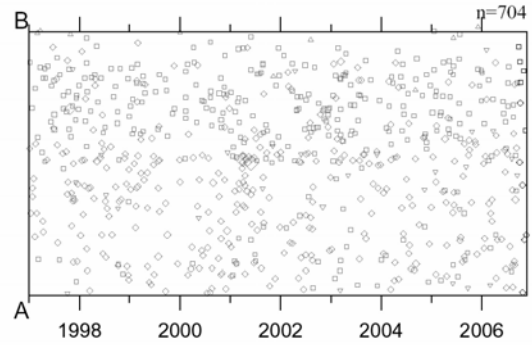
1997/1/1 ~ 2006/11/22

震央分布図（クラスタ除去）

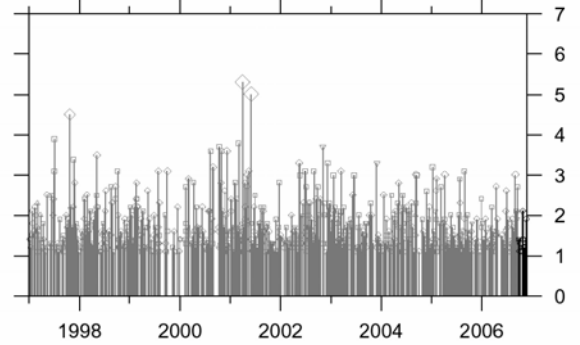


最近60日以内の地震を濃く表示

時空間分布図（A B 方向）

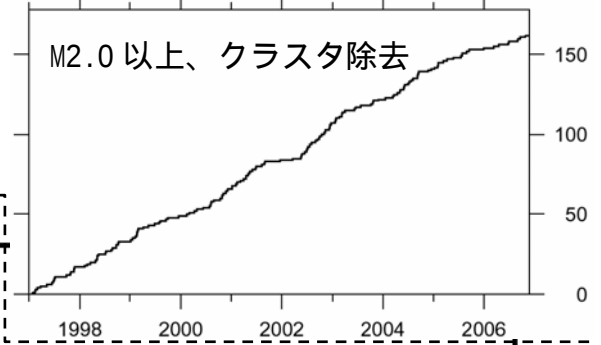
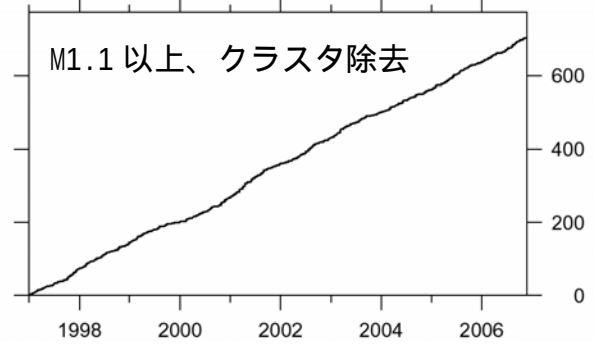


地震活動経過図（規模別）

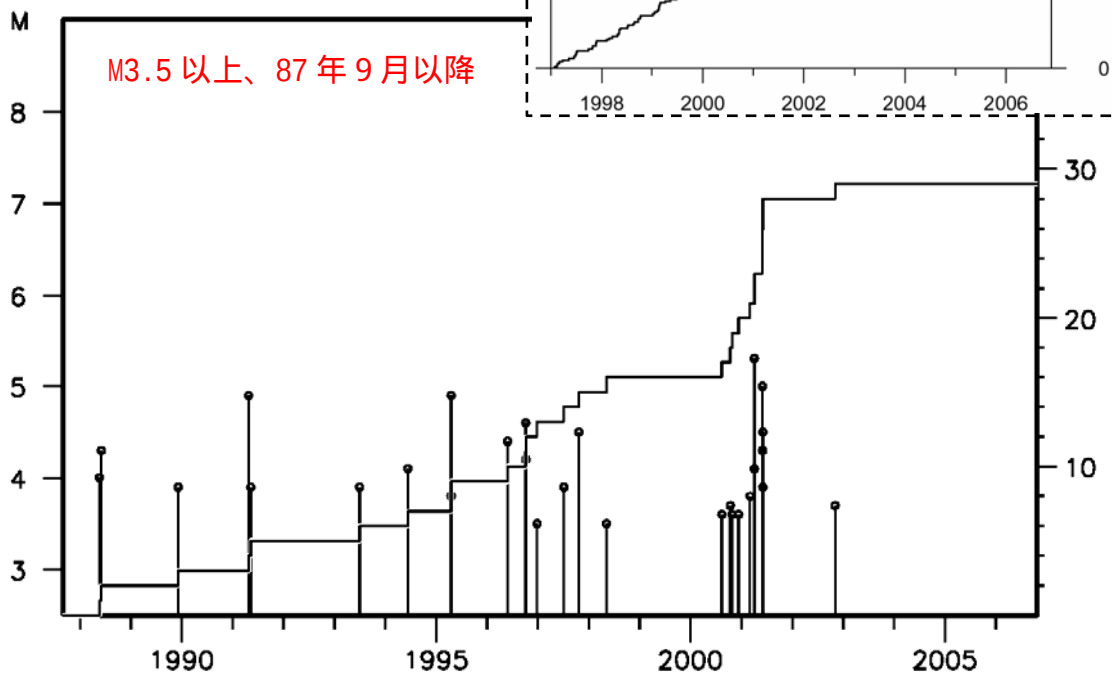


[M2.0 以上]

地震回数積算図



[M3.5 以上]



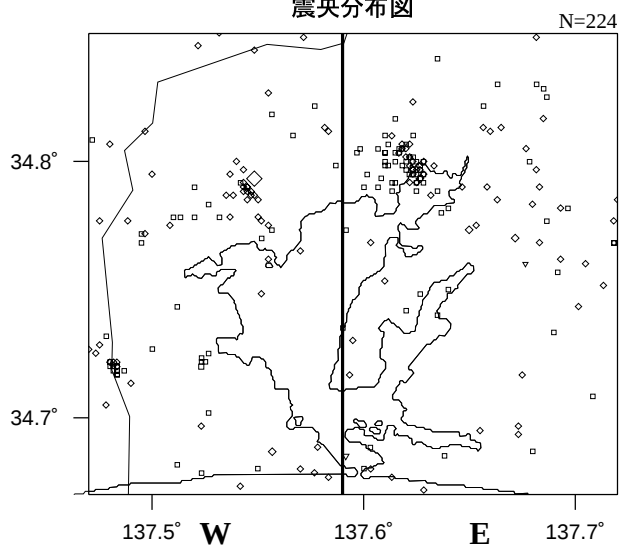
2001 年後半ごろから M3.5 以上の地震発生回数は少ない。98 年後半～2000 年前半にも静穏な時期があった。

M2.0 以上では、2005 年半ば以降やや静穏な様子が見える。

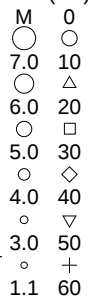
浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2006/11/22 M ≥ 1.1 * クラスタ除去したデータ

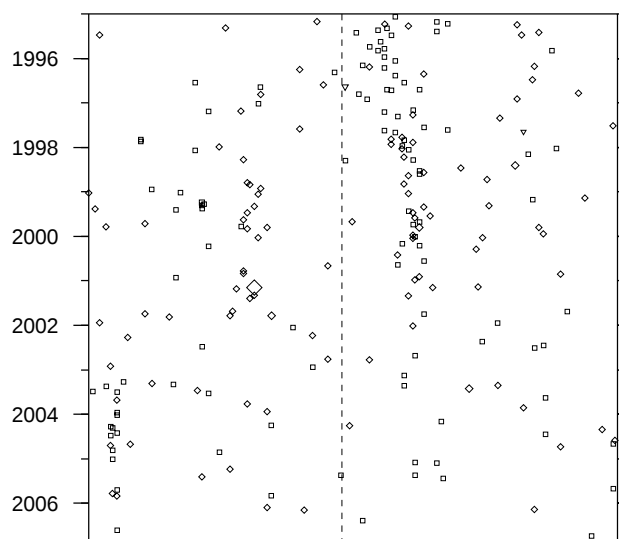
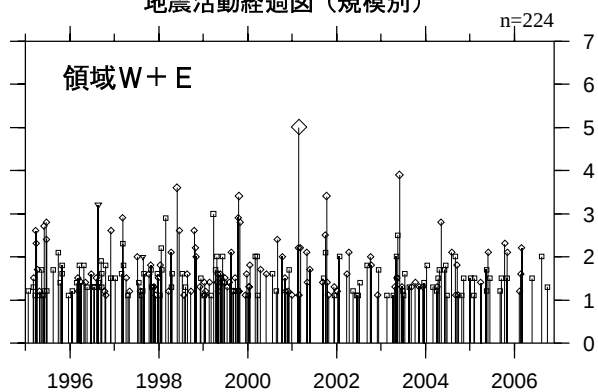
震央分布図



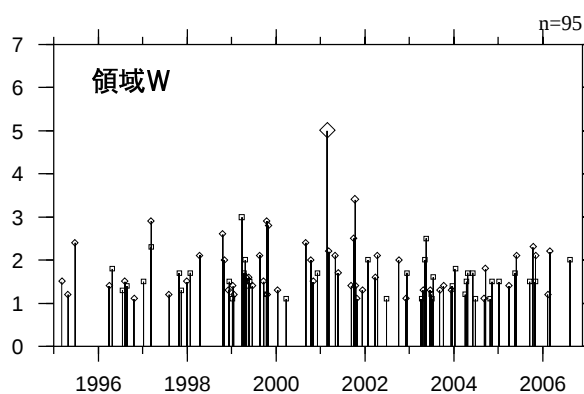
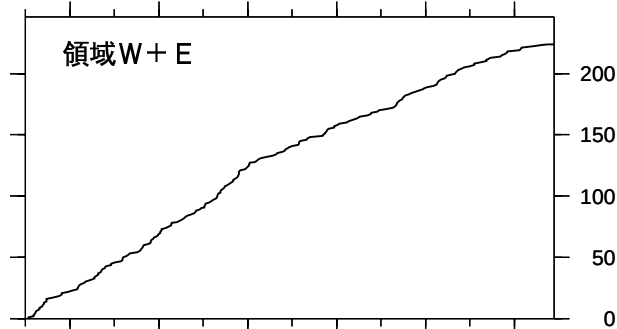
depth
(km)



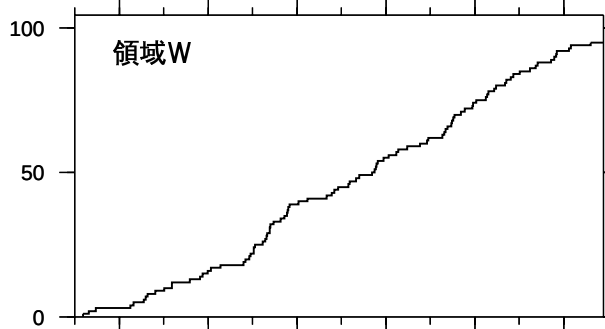
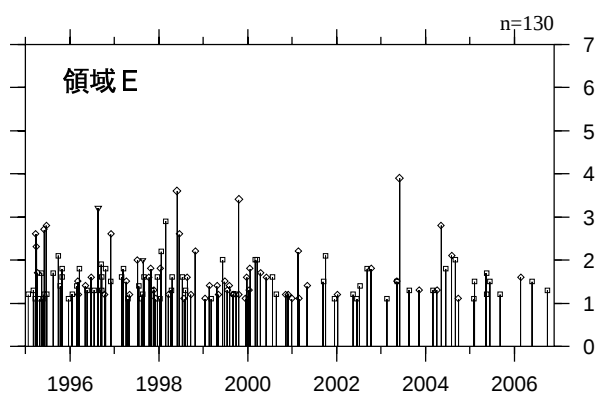
* 吹き出しは最近60日以内、M ≥ 3.0
地震活動経過図（規模別）



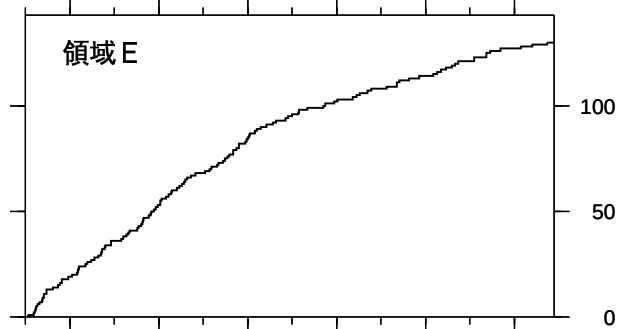
地震回数積算図



地震活動経過図（規模別）



地震回数積算図



2000年後半から浜名湖北岸にあるクラスタの活動が低下し、東側全体の活動レベルが低下した状態が続いている。西側も最近では静かになっている。